【1】日刊（除月曜）　昭和25年10月6日第三種郵便物認可　昭和26年7月19日運輸省特別扱承認第684号　磐城日日　昭和26年（1951）9月28日（金曜日）　第345号

磐城日日
發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼発行人　長瀬芳郎

小名浜臨時町會
火花を散らす論争
二中建築請負金の精算

小名浜町第八百六十三回臨時議会は二十六日午前十時半より町署会議室に理事者側より水野町長、長瀬助役、小泉、遠藤、斎藤、中里の各課長、加美山技師が臨席長瀬議長以下全議員出席の上開催した

議案に入るに先立ち菅原總務、比佐經濟、木村水道の各委員長より庶民住宅、公民館、水道對策等について擔當部門の經過報告があつた、公民館建築についての入札に對して長瀬議長より入札に當り地元土建業者の資格が問題になつたようであり適任者選定については各議員に於て審議されたいとはかれば

一部業者は反對
公民館入札は全面的

比佐經濟委員長　當町には十二の土建業者があるが、このうち三崎組、內田建設、柳內組、野口組、常磐土建の五業者を委員会に於て選定した

木村議員　一部業者に限定せず業者の失業對策の一環としても全面的に業者に呼びかけるよう委員会に於て取計つてはうどか

菅原總務委員長　これは小名浜町の特定の五業者に限ることは一考を要する、全業者に資格を與えてはうどか

と發言すれば鈴木、小野（務）立花の各議員賛意を表明した

比佐議員　資格審査は必要と思う町に全力をあげて協力し得る絶体的に信頼の出來る業者でなければならないと思う、二中の建築も今日やつと完成をみた有様で十月四日に竣工式を擧行することになつたが、朝鮮動乱の影響を受けて予期しない物價の高騰をみ業者は非常なる損害を蒙むつたことは議員諸氏もよく知つていると思うが參考までに申上げる

これに對して相當な討論が交わされたが結局全業者を含めて全面的に入札させることになり委員会に附託した

次いで議案二中建築請負金精算に關しての議事に入る

第二中學校は總工費予算七百八万二千円で作山安太郎氏が請負工事半ばに起つた朝鮮動乱のために物價の値上りにより九百十七万二千円と予算を超過して完成をみたものであり、その結果作山氏は責任を全うするため一切の家財をなげうつて工事遂行をなし現在実に窮乏の一路をたどつている、そのために何等かの方法で幾分でも損害を補塡してやりたいというのがこの議案である、これに対して

木村議員　政治はあくまで公正に批判し町財政も町當局はよく検討してもらいたい、町は作山組に對して家屋、トラックを抵当として百五十万融資していることは承知のことと思う、二萬七千町民の代表である諸君が二百五十万、百万、二十万と云われるが吾々議會人としてはもつと公正な立場からとの問題に対して検討されたい

理事者一任を衝く
常識論や人生論も飛出す

と顔面蒼白となりまくし立てた、これに對して林町議は着席のまま自分は作山氏の内情について熟知している、二百万、百五十万の案があるがこれについては賛成出來ないと發言

馬上（喜）議員　二つの世界の對立や朝鮮動乱により幾多の波乱を捲き起したことは現實である、第二中学は公營請負であると思う、第一契約は何時であつたか、それを究明するならば本年の三、四月頃は物價の最高ともみられた、常識論、人生論、社會通念に立ちあらゆる角度からとの問題をみるとき百万圓説が妥當と思われとれに同意するものである、また議會が承認するならば公民館の入札に對しても作山氏を加えたいと思う、要は眞面目で責任を果し得る点選定された五名に匹敵するものである、との問題は理事者に一任してはどうか

とれに對して金澤議員同調

立花議員　馬上、金澤兩氏の理事者一任の言に至つては暴言であると思う、町長一任、舊議員としては少しく再考されては如何、自ら作つた條例を破壞するものとみる攻めるべきは攻め、證すべきは證し然して作山組には深く同情致すものである、吾々議員は町民の代表として信頼を双肩に擔つている二百萬圓説をとなえた事は暴言にも程があるといゝたい、木村議員の云つた通り家庭、動機等を理解して檢討されたい、議会の常道よりみて工事の遲延に伴う有形無形の影響は兒童に対しても精神的に打擊を與えていることは輕視出來ない、小野（務）議員が百万に對して百五十万というのは妥当かどうか納得が行かない、議員諸氏もこの点を理解され協力あらんことを切望する

小野（務）、金澤議員の言に對しては絶對に反対である

立花、小野氏對立
結局は百万円でケリ

小野（務）議員　立花議員に対して答える、作山氏に對して吾々議員としては最後まで迷惑をかけるようなことではいけない、請負者そのものが損害二百萬圓としての内容をみるとき用材に於ても松を檜にかえ、七百八万の請負であつたが出來上りを見れば納得出來ると思われる、その観点よりみても寧ろ家屋と自動車を返せと強調したくなる、そのために百五十万圓が妥当と思う

飯田議員　との問題は總務委員會に委せてもよい今日論議している事は實に不可解である　冷酷無情というが再三論議されていることで委員會に附託するかを檢討してもらいたい

と發言する頃より議場は騷然として暗雲低迷し異樣な空氣がたゞよつていた、その中に立花議員より小野（務）議員に對する反駁あり喧々ゴウゝとして發言を求むる者續出する、長瀬議長靜止して先決問題は金額の決定であるとなし二百万百五十万、五十万、二十万の四案を百万、五十万、二十万に分立して決を取ることになり無記名投票の結果は次の通り

百万円＝十八名
二十万円＝六名
二十万円＝一名無効

となり百万円を贈呈することに決定をみた

作文
年よりをたたえる……
平一小六ノ二　島　利行

今のとしよりの人もその昔僕等の如き少年時代より幾十年の長い間寒さにも暑さにも病氣にもまけずに今日まで建康を保つてこられたその努力はまことに偉大なるものであります、又その間社会的に家庭的につくされた数々の貢献に對しては吾々は感謝の氣持をもつて尊敬しなければなりませんやゝもすれば世間にはとしよりの人にけいべつした言葉を用いる人があります、たとえばとしよりのね言だなんてゆう言葉などは大いに改めなければなりません、僕は父から言い聞かされたことなんですが親の意見となすびの花は千に一つのむだがない（此の場合親とはとしよりの事）との諺の通り全くなすびの花はほとんどむだがなく実のるのと同じく親の意見もおそらくむだの少ないものであります、僕等が今日とのりつぱな社會に勉强し生活して行けるのも今日までにとしよりの人が幾十年幾百年とかかつて努力せられた結果きづきあげてくださつた苦心のおかげだと思います、だから私たちもりつぱな人間になつてもつと〳〵住みよい社会を造り出すように心がけなければなりません、それがわれ〳〵の義務であつてとしよりの人に對する感謝と尊敬の氣持のあらわれであります。

終りにとしよりの人をいたわる標語のような歌のようなものを作つてみました。

としよりのかたをたたいてラジオ聞く一家團欒のよいのひととき。（終）

單作地帶の振興
農業委員運營指導會

石城地方事務所では二十八日午前九時から公会堂日本間で各市町村農業委員会運営指導会を開く

①農業委員会運営
②積雪寒冷單作地帯振興計畫
③食糧供出
④農業改良普及事業の計畫
⑤農地調整法の運用
⑥自作農創設特別措置法の運用
⑦土地改良法の運用
⑧土地讓渡に關する政令の運用
⑨民事調停法の運用

求人週報

【男子】▽農夫多數一、五〇〇～二、〇〇〇住込▽製罐熔接見習二十才前後通勤日收八〇▽水産加工業多數十八才～三十才一、五〇〇～二五〇〇住込▽製油製造見習十八才～二十三才八〇〇～二、〇〇〇住込▽製材工二十才～四十才日收三五〇通勤

【女子】理髪見習十七才前後五〇〇住込▽女中年令不問多數一、〇〇〇～一、五〇〇

天氣豫報

【本日】北東の風朝の中は曇りですが次第に晴れ間が出て來ましよう

【海上】沿岸は大したとはありませんが沖合は風波が高まつていますから漁船は御注意下さい

魚菜市況 27

【小名浜中央青果市場】▽玉ねぎ四五－六〇▽丸大根五－五二▽長大根五－四八▽なた豆三〇－八〇▽人蔘二〇－九〇▽さつまいも四〇－四五▽茄子一〇－四〇▽きうり四〇－六〇▽里いも五〇－六〇▽葱六〇－八〇▽牛蒡七五－七八▽馬鈴薯五〇－六〇▽しようが一三〇▽菜葉一把三円▽柿一ツ一、五〇

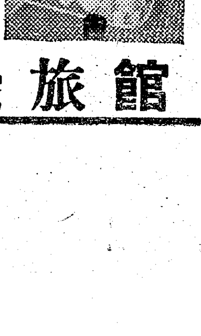
【小名浜魚市場】▽たこ一〇五－一二〇▽ぎす一四〇▽えび七八〇－一〇〇〇▽いわし四〇－六五▽唐人二〇▽黒子四五－六六▽いか（陸送）一〇〇▽かつを（陸送）二八〇▽そうだ二八〇

女中さん急募（二〇才—三〇才）
蒲燒
壽し
小名浜町
一平
電話四五一番

（月賦販賣中）
オート三輪車なら……
ダイハツ號
小名浜町
宮下商會
モーター部
電話一九八番
四五九番
＝外交員募集＝

藝妓置屋　山形屋
白土喜伯
平市田町　電話一二七番

御披露
この度閑靜優雅な數奇屋造りの客間（十四室）の新裝なり亦浴場も完成いたしました。
何卒行樂に宴会に團体に御家族連れに是非御利用の程を偏に御願い申上げます



小名浜港消防署前
（駅より徒歩五分）
玉屋旅館

中止以來八ヶ月で再許可
爆彈の引揚再開
解撤は日本火工か一手

戰爭の残骸ともいうべき小名浜沖海底に沈められた爆彈は新しい姿で世に出されることになり金へン景氣にも煽られて引揚作業が許可され人氣の絶頂にあつたが鳴門事件を始め種々な難關に閉ざされて當局の命により中止となつて居たが八ヶ月ぶりで再開されることになり去る二十六日第二管區海上保安部（鹽釜）石飛航路啓開部長が來小業者に對して許可證を交付した、引揚作業は五業者に許可されたが組合組織で日本火工会社が解撤作業を一手に引受けることになり小名浜港外江名町下神白字三崎に解撤工場を建設中である

同引揚組合の組合員は岡工務店、共同資源、東邦產業、勿來農產、太平洋海事の五業社で航路啓開部ではこの引揚及解撤作業の監督のため麗谷船長（乘組員二十二名）の指揮せるMS二十一號（一三五トン）を特に派遣して作業期間中小名浜海上保安部を根據地として駐在することになつた

尙作業場には赤旗の標識を揚げるので其所から一、五〇〇米以内は危險につき近寄らないようにと警告を発している

廢止自治署の連絡會

石城郡下の小名浜、植田錦、勿來、湯本、江名、四倉の七自治警察署は住民投票により廢止と決定したため十月一日附で廢止となるため二十七日午後一時より平市自治署に於て各署長、公安委員、町長らが參集して最後の連絡会を開催した

便利な郵便切手発賣

湯本町郵便局では切手付き封筒を簡易書簡（昔の封かん葉書）を一枚九圓で賣り出し中だが旅行客や商用として書き損じた場合切手だけ切り抜いて使用出来るので好評を博している

鍼灸按師の研究講習會

石城鍼灸師会主催の鍼灸按の研究講習会は二十七日湯本町公民館で行つた

消防團長の改選
錦は小野氏昇格
田人は緑川氏留任

錦町消防團の團員總会は二十四日午後一時から錦小学校講堂に於て開催、團長滿期について協議をなしたが現団長松本清氏は職務多忙の爲辭意を表明その結果新團長に副團長小野金男氏が昇格副団長には第一分団長門馬孔一氏が昇格した

なお秋季檢閲は來る三十日行われる小學校の運動会を兼ね錦町熊野神社境内にて行う事に決定した

※　※

田人村消防団幹部會は二十四日午後一時より田人村役場会議室にて開催団長、副團長の任期滿了に付いて種々懇談した結果幹部会としては現團長緑川万壽吉、副團長鹽澤寬の兩氏を指名推選することになり一應各班毎に團員の意向を取まとめて決定することになつたが結局は現團長が一本ヤリで推されるものと見られている

歌の花籠を公開
××浅沼、森川特派員の ニュース解説に期待××××

平放送局では來る三十日午後六時より講和調印式實況放送のためサンフランシスコに於いて活躍されたNHKの特派員浅沼博氏と森川明氏を平市公会堂に迎えてニュース解說と歌の花籠を公開することになつたが、歸朝早々の兩氏の話については相當の期待がもたれ今より人氣をあおつている、また歌の花籠のも録音する入場は無料であるが整理券を平放送局に於いて發行しており希望者は申込まれるよう要望している

寮対抗の野球大會

磐崎健保組合主催、各区寮対抗野球大会は三十日午前八時から磐崎礦グラウンドで開く

尙同組合では十月七日レクリエーション大会も行う予定

郡下農協の職員大會

石城郡下農業協同組合主催の第一回職員大会は來る三十日午前八時半より植田小學校グラウンドに於て開催される、この日は農協組發足後初めての大運動会であるだけに競技は盛澤山のプロで大熱戰を展開するものと見られ相當の人出が期待されている

玉山鑛泉で
4Hクの講習會

浜通り4Hクラブ連盟では十月一日より三日間大野村玉山鑛泉に約百三十名が參集して講習会を開く

第一日＝運營委員會、自由研究

第二日＝合議の進行法、討議の仕方、麥作について、キャンプファイヤー

第三日＝全体討議、審査競技

なお縣よりは改良課の係員が出席の筈

富岡區民の美擧
窮乏の一家を救う

小名浜町富岡東教院の堂守をしている宍戸留秋（五〇）さんは永らく東京に住み相當の生活をしていたが大東亞戰爭の影響をうけて昭和二十年頃當地へ來たり寺の留守をしながら一家六人は細々と煙をあげていた

留秋さんも適當な職を求めたがこれとてなく生活にも困り仕方なく山に入つては榊を伐つてきてそれを妻に賣歩かせてその日の糧を得ていた、物價高の今日四人の子供を抱えての生活は並大抵でなく苦るしい中にも二兒を學校へ通わせ今日に至つたが、今月の初め頃留秋さんは突然腦溢血で倒れてしまつた

働き手を失つた一家の窮乏は底をつき悲嘆に暮れている有樣をみた富岡區長の鈴木孝次さんは部落三十二戸の農家に宍戸一家の窮狀を訴えて救助方を懇請したところ皆同情して金を出す人もあり米を出す人もあつて鈴木さんはそれを宍戸さんに贈つた、また同町大原の箱崎醫師も二日おきには遠路をいとわず巡回して施療をなし哀れな一家に救いの手を差し延べているときく

人情紙より薄いといわれているときとうした暖かい心を持つて隣人を助け合う部落の人々に對して感泣しつゝ宍戸さんは全快の日を待つている

山神社の屋根を剝がる

湯本町台ノ山常磐炭礦山神社奥殿屋根の銅板瓦六十五枚時價三千円相當が十八日から十九日までに何者かに盗まれ湯本町署へ屆出た

『山で見る幻影』?????
足音 ④

そこで野呂松の小屋のことを說明すると野呂松はもと山梨縣側の野呂川の伐木事業に携わつていた伐木人夫で、この親爺は全く山のお腹を母親にして生れたような男で、十年以上も野呂川筋に獨身で伐木や獵に專念してきたという山男列傳中の勇であり、從つて野呂川の松！愛稱野呂松と呼ばれるようになつた

この野呂松が段々野呂川の奥に入り込みやがて伊那側へ移り住むようになつてから、ふとした因緣で南アルプスの大元締武田長兵ヱと武長と知りあい、武長もこのムツツリとしているが山にかけては知らないことのない野呂松にすつかり惚れ込み、何時とはなく自他共に許す武長の愛弟子となり、やがて野呂松は六合目の小屋を預るようになつた

この男の最大の特徴は聾耳であるということで、学生仲間では一名ツンボの松で通うつている南アルプスでの名物親爺であつた

先程から出てくる人間が一風變つた山男ばかりであるが一行四名は吾々を待つている野呂松小屋に夕刻近く着くことが出來た、一年間も逢わない仲であるのに野呂松は愛想一つ言うでなし実に殺風景の對面でそこに山の生活の純朴さが伺われる

すすめられる澁茶に咽喉をうるおしてから先刻第二峰のキレツト傍の偃松の中に横たわつていた長作の屍体を話すと流石に動ずることを知らないので定評のある野呂松の顏にも深い動搖があつたもののように、そのだゝ廣い額に深いしわをみせながら兩手を耳にあてて氣忙しげにその有樣に聽き入るのであつた

「そうかなあ」とう〱長作もござらつしやつたかの、俺あ、あすこなら二、三日前も通つただが佛は俺れに引き合わなかつたなあ」

と彼は深い嘆息をしてからほだ火をはげしく突つくと爐端を圍む五人の顏が鬼火にでも照らされたように一樣に輝いてみえるのであつた

しばらく長作の思い出に野呂松は不自由な耳を氣にしながらぽつり〱と語り出した、吾々は奇怪な山の幻想に浸りながらこの深い山中のヒユツテの夜をしみじみと味わうのであつた

山は夕食後すつかり天氣が定まつた形でいよ〱澄み渡つてきた、小屋の後にずつと續いている雪溪から流れてくる宵の風は日沒とともに刻々冷氣を加えて窓の隅々から容赦なく部屋の中へ吹き込んでくる

例年の山開きと違つて飲む酒も何どはなしにほろ苦いものに感じられた、お通夜でもしている氣持ちだなあと誰れかがいうと野呂松は聞き耳を立てて

「ほんによ！今日は長作さあのお通夜というものさ、南無阿彌陀佛、南無阿彌陀佛――」

と盃を下において合掌するのであつた

七つの星座

戀人にゼヒ見せたい映畫

見合31回！　女嫌いのプリンスが街で拾つた初戀の味!!

この映畫はあなたの初戀を想い出させます

キャスト

利根はる惠・新宮信子

伏見和子・藤原釜足

上原謙・岡村文子

二十八日―十月一日

磐城座

この映画を観て戀を語り給え！
かくも哀しいかくも美しい
戀がかつて銀幕に描かれたろうか？
裏街
BACKSTREET

この映畫を觀て戀を語り給え

かくも哀しいかくも美しい戀が

かつて銀幕に描かれたろうか？

洋服は　技術も スタイルも 價格も きつと 御滿足を得られる

紳士服 婦人子供服　大井洋服店へ

小名浜町本町

求男子見習

◎良質安価をモットーとせる

御家庭の必需品！

㊀花かつを

製造元 二幸商会

小名浜町定西 電二四〇

くさ、湿疹、とびの季候です

二、三日の使用で本当に喜ばれるレゾルシン含有の

"ナナ"を是非お奨めいたします

虫下しなら

マルキ薬房

小名浜町西町 電一一五